

シャンプーやスキンケアは親子のふれあいのひととき! 子どもの入浴、親のきもちと行動

生活者研究センター
主任研究員 桐井 まゆみ

生活者研究センターでは、子どもの手洗い、からだ洗いやシャンプー、スキンケアについて家庭訪問調査を行い、成長に伴う行動の変化や親子の様子を観察してきました。その結果、こうしたことは、清潔や健康のためだけではない親子の大切な時間になっていることが見えてきました。2014年12月に「幼児の手洗い」について報告しましたが、今回は、子どもの入浴に関する行動にスポットを当て、そこから見えてきた親のきもちと行動を報告します。

トピックス

- 入学前にひとり洗いが始まり、低学年まで親がサポート
- 親子のお風呂タイムやスキンケア
- 日頃のケア行動は子どもと向き合う大切な時間
- お風呂の時間を「ふれあい」と「自立応援」の機会に

【調査概要】

「母親と子どものボディ・スキンケアへのきもちと行動」

調査期間：2013年10～11月
調査方法：家庭訪問インタビュー
調査対象：首都圏在住0～8歳児の親
対象者数：14世帯(子ども20人)

「子どものひとり洗いの状況調査」

調査期間：2014年5月
調査方法：インターネット調査
調査対象：2～10歳児の親
回答者数：270人(子ども393人)

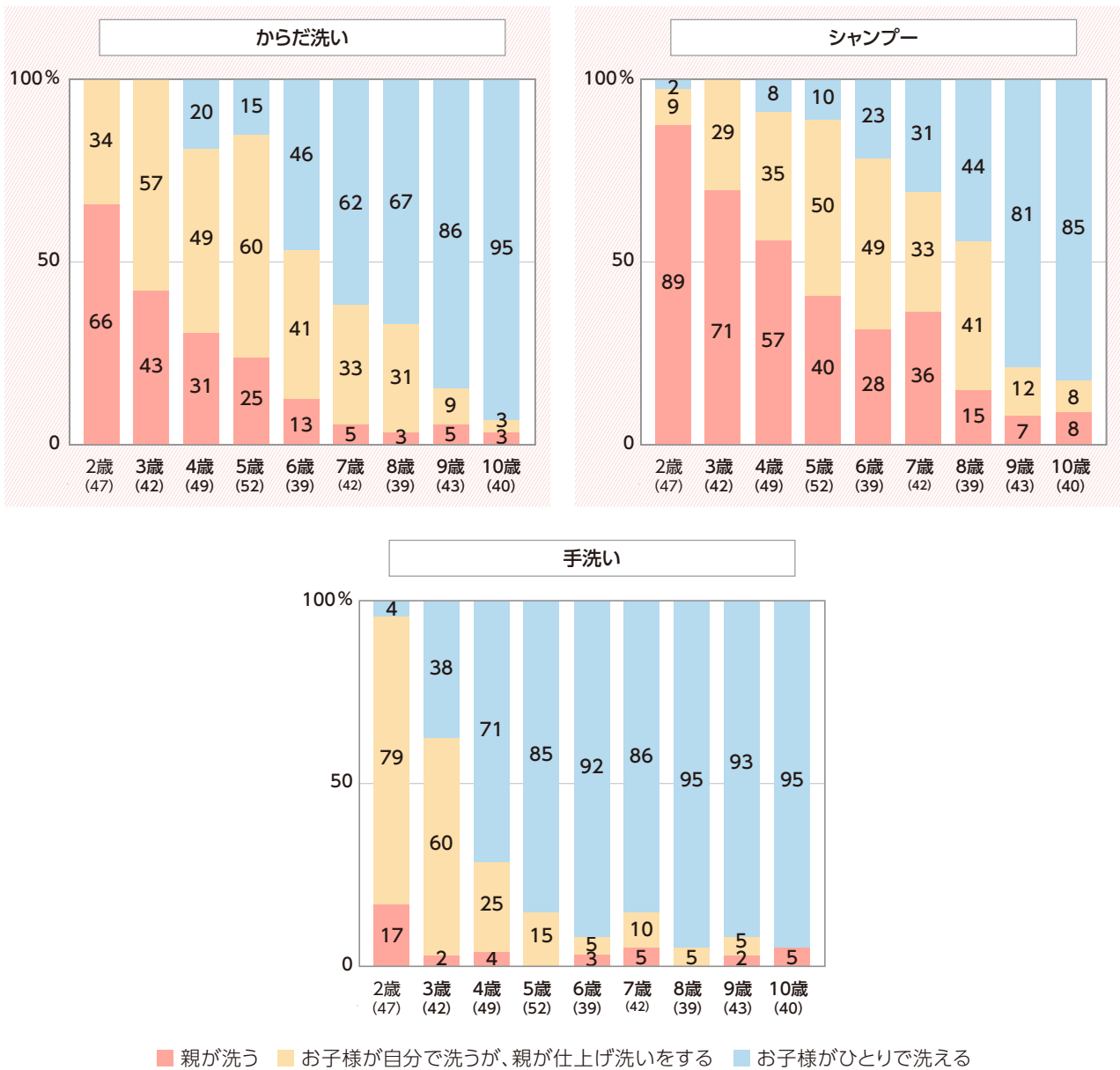
「母親と子どもの入浴洗浄へのきもちと行動」

調査期間：2014年4～8月
調査方法：家庭訪問インタビュー
調査対象：首都圏在住0～8歳児の親
対象者数：13世帯(子ども21人)

入学前にひとり洗いが始まり、 低学年まで親がサポート

子どもの健康や発達には親にとって常に気になる事柄ですが、成長に伴って親のサポートは変化していきます。帰宅後や食事前の手洗い、お風呂でのからだ洗いやシャンプー行動もそのひとつです。

調査によると、子どもの手洗いは2歳頃、からだ洗いやシャンプーは4～5歳頃から自分ひとりで行う「ひとり洗い」が始まりますが、「親が洗う」または、「親が洗えていないところを手伝う「仕上げ洗い」などで、親の関わりはしばらく続きます。からだ洗いは6歳まで、シャンプーは8歳まで半数以上の親がサポートしており、からだ洗いよりシャンプーの方が長く関わっているようです(図1)。



(図1)子どもの洗浄における親のサポート

2～10歳の子を持つ親270人 *子ども393人(花王調べ)

親子のお風呂タイムやスキンケア

～子どもの行動・母のきもち～

家庭訪問調査で入浴やスキンケア行動を観察したところ、大きく2つのパターンが見られたので紹介します。

【からだ洗い・シャンプー】

【ハラハラキッズ】

親が洗ったほうが手っ取り早い!

Aさん親子
息子(年長)

子どもが自分で洗い始めることを嬉しいと感じるものの時間がかかる。親が洗った方が洗い残がないうえ、素早くできるので親がやっている。

●子どもの行動

自分で洗おうとするが、シャワーで水遊びがはじまる。

●母のきもち

自分でやろうとするのは成長したと嬉しい反面、時間がかかるから私が洗ってしまおうかも…。



(イメージ)

自分が洗ってあげた方が素早く確実に洗える。

【ニコニコキッズ】

一緒に泡を使って遊び感覚で!

Bさん親子
娘(小3)、
息子(年長)

泡を使い遊び感覚で洗い方を教え、子どもをほめて気分を盛り上げ、自立を促す。

●子どもの行動

体にいっぱい泡をつけて、楽しみながらゴシゴシ。

●母のきもち

よくできたね!

泡がついていないところは、洗えていないところだよ。



(イメージ)

シュワって音がするところは、泡が残ってすすいでいないところだよ。

【スキンケア】

【ハラハラキッズ】

とにかく早くやっしまわないと!

Cさん親子
娘(小2)、
息子(4歳)

乾燥を防ぎたいから、子どもが走りまわってもボディクリームを塗っている。でも、すぐに動きだすから素早く済ませてしまう。

●子どもの行動

お風呂から出た途端に、はしゃいで走って逃げ回る。ちっともじっとしていないので、なかなか塗らせてくれない。

●母のきもち

ただただ早く終わらせなくちゃ、という気持ちが強くて、気持ちに余裕は持てない。



(イメージ)

じっとしていないので、塗ることだけで精いっぱい!

【ニコニコキッズ】

子どもとスキンシップ!

Dさん親子
息子(年長)、
娘(1歳5ヶ月)

スキンケアは子どもとふれあう時間と考え、ボディクリームを塗るときの合図に工夫をして、スキンシップを親子で楽しむ。

●子どもの行動

「ぬりぬりしよう」の呼びかけをすると、そばにやってくる。親をひとり占めできるひと時になっている。

●母のきもち

娘にベビーマッサージをすると嬉しそうに笑ってくれる。その瞬間に私もやさしい気持ちになれる。



(イメージ)

寝る前のスキンシップ。妹に手をかけがちなかで、お兄ちゃんと向き合える時間。

日頃のケア行動は子どもと向き合う大切な時間

からだ洗いやシャンプー、スキンケアの様子を観察していると、子どもがじっとしてくれない「ハラハラキッズ」の事例では、「とにかく早くやってしまわなければ」「自分がやったほうが確実だし、手っ取り早い」と慌ただしく済ませていました。しかし、忙しい中でも子どもはお風呂に入れて、清潔にしてあげたいし、スキンケアもしてあげたいと、子どもを思いやる気持ちから、頑張っている姿がうかがえました。



「ニコニコキッズ」の事例では、からだ洗いやシャンプーの泡を利用して「遊び感覚」を取り入れながら、洗い方を教えたり自分で洗えるように促していました。また、「よくできたね!」とほめて上手に子どもの気分を盛り上げていました。入浴後のスキンケアでは、親子で向き合って肌の温もりを感じながら、お互いの愛情が満たされる行動として楽しんでいる様子でした。

お風呂の時間を「ふれあい」と「自立応援」の機会に

お風呂の時間は、子どもにとっては、すぐそばで親に見守られ、直接触れてもらえる楽しい機会となっているようです。また、目と目をあわせ「よくできたね」とほめられることで、やる気が高まり、認められる嬉しさも感じているようでした。一方、親にとっても、日々成長する子どもの様子を間近で感じられる嬉しい時間となっていることが見てとれました。

子どもが一人では上手にできず、親のサポートを必要とする時期は、お風呂の時間が大切な親子のふれあいの場やスキンシップの時間になっているようです。また、肝心なところは親が手伝いながらも、できることを子どもに任せてみることで、子どものやる気を盛り上げ、自立を促すきっかけになっていました。お風呂の時間が、「親子のふれあい」と「子どもの自立応援」の貴重な機会になればと考えます。

【お子さまの入浴を上手にサポートしよう！】

生活者研究センターが家庭訪問を通じて発見した、小さなお子さまの入浴に関するコツや、からだを洗った後のすすぎポイントをまとめました。

●お風呂の時間を楽しく過ごすためのアドバイス

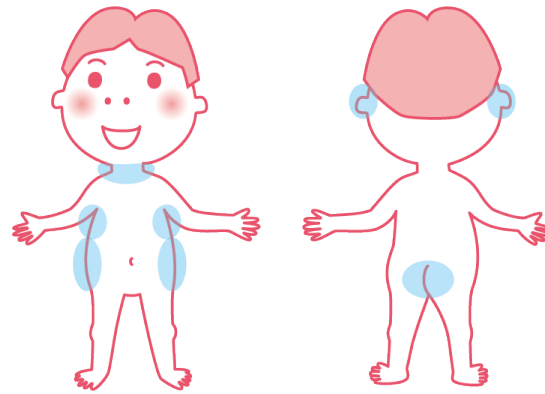
- ・一緒に歌を歌う、言葉をかける、ほめるなどしながら子どものやる気を高める。
- ・興味をひきそうなお風呂グッズを使って楽しい雰囲気づくりをする。
- ・泡タイプのシャンプーやボディウォッシュを活用して、子どもでも洗いやすくなる工夫をする。

●すすぎ残しはありませんか？

お子さまのからだ洗いの行動観察から、洗った後のすすぎ状況を確認しました。その結果、首元や脇の下、脇腹、お尻、耳の裏などに「すすぎ残し」が多いことがわかりました。すすぎ残しのチェックには泡が目安になるので、しっかり洗い流すようにしましょう。

～すすぎ残しが多い部分～

"Check Point"
泡が
流せていない
ところ



家庭訪問による観察結果 14世帯(花王 生活者研究センター調べ)

▶メリット × ビオレu 泡でじょうずにひとり洗い <http://www.kao.co.jp/biore/biore-u/merit/index.html>

▶ビオレu うるおいミルク 30秒で全身スキンケア http://www.kao.co.jp/biore/biore-u/body_c/milk/index.html

●お問い合わせ・ご意見は **花王株式会社 生活者研究センター**

〒131-8501 東京都墨田区文花 2-1-3 TEL. 03-5630-9963(月～金 9:00～17:00) FAX. 03-5630-9584

くらしの研究 <http://www.kao.co.jp/lifei/>

※掲載の記事・写真の無断掲載・複写を禁じます。